

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105180
法人名	有限会社 ソフィア・インター・ナショナル
事業所名	グループホーム山田の里
所在地	鹿児島県鹿児島市山田町44番地3 (電話) 099-264-0850
自己評価作成日	H29年1月18日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様のお一人お一人の気持ちに寄り添い、その人らしく安心して過ごして頂けるように対応しています。
食生活に配慮を行い、食前に献立紹介と献立に変化をつけた料理の提供を行い会話がはずみ、楽しみながら頂けるようにしています。開設当初から初めています、手作りのヨーグルトは、朝食に添えられて健康維持の手助けとなりました。医療連携の導入と日常の体調管理を行い、異常の早期発見に努めています。看取りの体制も整えています。職員の質の向上に努めるように研修への参加も積極的に行うようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームの理念は、本人らしい生活の実現や残存能力の助長、本人の思いに寄り沿い共に暮らしていき、家族や地域との関係性を大切にし、地域密着型施設を意識した取り組みを目指していくといった理念であり、全体会議で理念に触れ、話し合い、職員に浸透していくよう取り組んでいる。
- 運営推進会議は、2ヶ月に1回開催されてはいるが、月によっては職員の研修会だったり、災害時の避難訓練に特化しているなど会議の目的が不透明になっているため、運営推進会議の目的や内容を明確にし、利用者やサービス提供の現状、評価への取り組み状況などについて報告し相互に意見交換などして、サービスの向上に繋がるよう工夫が必要な面もある。
- 管理者は、年度末や必要に応じて職員と個人面談を実施している。業務の効率化を検討し、調剤薬局の薬剤師との連携を図ったり、職員の事務の負担軽減を図るため専用ソフトを導入するなどしている。また、1階と2階の職員のローテーションをおこない職員の勤務状況や職員同士の人間関係を含め全体を把握するなど職場環境を整備したり、職員会議の中で意見や提案を聞く機会を設け業務の見直しや改善策を検討し働きやすい職場作りや職員教育に力を入れている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に掲げてある「あなたがあるあなたらしく」の文言の奥にある人権尊重を第一に考え対応重視を考慮している。	理念は、全体会議の中で管理者の発案にて今月作り直したばかりである。今後、毎月全体会議で理念に触れるよう考えており、1日も早く理念が職員に浸透していくよう取り組んでいく予定である。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域と合同の消防訓練を実施。廻覧版で情報交換は行っているが、小学校との交流は進展がまだ無い状態です。	町内会に加入しており、回覧版を通じて情報収集はしているが、日常的に地域と交流しているとは言い難い。行事の際、ボランティア（踊り）を受け入れしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	今年、開設以来初めての看護学生の研修を受け入れる事で、認知症の理解を広める機会だと思います。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	第三者が入る事により、現在の取り組みや内容が適正かどうか判断の材料になり、質の向上になる。	運営推進会議は、職員の勉強会や消防訓練、敬老会などの行事が主になっていることがあり、推進会議の趣旨とかけ離れているように思われる。行政や地域の参加も少なく、家族には、案内を出しているがなかなか参加が見込めていない。	運営推進会議は、事業所の活動状況や利用者の状況、外部評価結果と改善の取り組みなどを報告し、事業所や地域の課題を含め相互に交流を促進するための話し合いなどをおこなう場である。参加メンバーを固定化することがないよう留意し、会議の内容など情報の共有化、他家族への報告の方法などを工夫されたい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故が発生した時には市に報告を行って再発防止に努める対策を講じている。市からの研修は、業務に支障がない限り参加ができるようにしている。待機者の報告も継続して行っている、	市担当者とは、電話で連絡や相談などすることが多く関係性は良好で協力体制があり、市から研修会の案内がある際は、積極的に参加するよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在、1階フロアにて、身体拘束に該当の方はおられません。不穏状態の方がおられた時に、4点柵の必要性の有無をいろんな視点から話し合い最終的に無しで対応しました。玄関の施錠は日中はおこなっていません。	ベットから滑り降りようとする方がおられ、四点柵を使用しているケースがある。3ヶ月ごとに会議にて話し合っている。また、職員は定期的な勉強会や外部研修会への参加にて身体拘束の弊害について知識を研鑽し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待についての研修会への参加や施設内での勉強会を行う事で、職員の意識を高める事に努めます。又、職員がゆとりを持ち業務を行う事が、防止策の一つにもなっていると思います。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、成年後見制度に関わる利用者様はおられません。支援策が構じた場合には、即ち動けるように知識を身につけるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前に重説により施設概要説明を行い、入居確定にて契約締結を行っています。重説内容変更の際にも説明を行い理解・承諾の上、変更に至るようにしています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族様へ施設や介護職員に関して、意見や疑問点や要望等がないかどうか、伺いはしています。</p>	<p>利用者や家族には、面談にて意見、要望が出しやすいよう関係性作りに留意している。出された意見は、カンファレンスで話し合い、運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員からの意見については、月1回の職員会議で出し合い、早期に対応しなければならない時には、解決策に転じる。又、緊急性のない場合は都度、検討を行うようにしている。</p>	<p>管理者は、毎年度末に個人面談を実施しているが、必要に応じて随時面談もしている。内服薬の分包は職員の業務の見直しをして薬局に依頼したり、事務作業をソフトを導入したことでケアに専念できるよう改善するなど職員と仕事の効率化を図り働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>賞与時に評価ガイドラインを参考に算定の基準を行い、各自がモチベーション向上に繋がるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>現在、1名の方が、同会社の施設へ研修として出向している。又、研修に積極的に行ける機会を設けスキルを上げるようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流は昨年から、考えていたが、まだ、実践はされていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居されてから、個人差はありますが、環境の変化に不安になります。本人が安心出来る対応を入居前の背景も考慮しながら、ベストな対応ができるようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居されたとしても、家族さんは不安があると思います。家族さんの思いも聞き取り、面会等に配慮を行い、信頼関係の構築に努めるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始に伴い、必要とされるサービスに関しましては、柔軟に対応できるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居時に家族さんと離れ、不安と寂しさと悲観があると思います。職員が本人の気持ちに寄り添い、家族の一員のつもりで対応するように心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携を繋ぐ手段として、毎月の生活便りや面会時に現状報告を行うようにしています。状態変化時には、極力家族さんへ連絡を行い本人と家族の絆が密にできるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に行っていた馴染みの場所に関しては、すべてにおいて満足な支援は困難な事があります。個人のニーズに合わせて対応できるようにしています。	友人の訪問があったり、近所のスーパーに職員と買い物に行かれる方がおられる。家族に協力をもらいながら、墓参りや自宅訪問、面会を依頼している。また、電話の取次ぎ、手紙の代読などして馴染みの関係性が途切れることがないようにしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の状況の把握と周囲の状況の把握を行いながら、レクリエーション等の交流時に間に職員が介入を行い、楽しみながら行う事に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	全てにおいてのフォローは、出来ていませんが、退居後がどう過ごされているかなどの、確認を行う事もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや家族さんからの情報を参考にしながら、本人の思いに寄り添ったケアができるように努めます。	本人の表情や言動を見ながら思いを汲み取り、家族の情報を参考にして家族と本人の思いを共有するようにしている。本人らしい暮らしの実現に向けて取り組んでいる。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報収集に限らず、変化が生じた場合に、改めてポイントポイントで情報を確認することもあります。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お一人お一人の生活のリズムがあり、不穏状態にならないように配慮に努めながらケアを行っています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成にあたり、介護の現場で取り組む介護職の意見、家族さんからの要望の反映に努めるようにしています。	本人や家族の思いや意向を把握し、アセスメントし、モニタリングを踏まえカンファレンスで職員が話し合い、介護計画を作成している。定期的にモニタリングを実施、必要に応じて計画の見直しをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録重視し、気づきや伝達事項等はノートの活用もしています。又、介護計画の見直しの必要時に柔軟に対応ができるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族さんからの要望に応え、かかりつけ医の指定や状態に応じてかかりつけ医の変更。訪問歯科や訪問リハビリなど一事業所に一本化しないサービスの在り方をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用に関しては、まだ、パイプができていないと思います。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	適切な医療を前提とし、本人及び家族さんの承諾を得た上で行うようにしています。	外来受診は、職員や家族が対応している。また、隔週訪問診療を受ける方がおられたり、週1回訪問看護による健康管理が受けられ24時間医療体制が構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携にて訪問看護師が週1回、状態観察やバイタルチェックを行い、状態に応じて受診に繋いだり、かかりつけ医との連携も行う事できるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時に本人様の情報を病院側から求められた場合、速やかに的確に情報の提供が出来るようにしています。退院時も病院のカンファに参加ができるようにアプローチしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りに向けては、状況の変化に応じてその都度、主治医からの説明と事業所からの説明を行うようにしています。家族さんの思いを大事にし、初期の段階の思いが、状態に応じて変わる事もあるという認識を持つことも、チームで共有できるようにしています。	重度化や看取りに向けた指針は現在見直し中である。看取りの体制があり、契約時に重度化や終末期に向けた方針について説明はしているが、重度化に伴う意思確認書などは作成しておらず今後検討したいと考えている。	重度化や終末期に向けた指針の見直しをされ、本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように、早い段階から意思確認をおこない、また、段階に応じて家族等の意思確認にも配慮されたい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	昨年に医療連携を行っている、師長さんを招き、事故発生時の初期対応についての講演をして頂き、介護職がいざという時に、即座に行動が出来る事を目指しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昨年の火災訓練は2回とも消防署員の指導の下、夜間を想定したかたちで実施しました。地域の方の参加も行い、災害時の避難場所をマップで周知しいざという時に、慌てずに行動ができるようにしたいです。</p>	<p>夜間想定にて年2回避難訓練を実施、内1回は、地域住民（班長、民生委員など）や家族の参加もあった。地区は、雨期に水害の被害の可能性があるため、駐車場などの見回りを実施している。また、今後、自動通報装置の導入を検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人権尊重を重視し、否定せず、非難せず、声かけや対応に注意を行いながら接するようにしています。	居室に入る時は、必ずノックしてから入室するよう職員に徹底している。言葉かけは、敬語だったり、鹿児島弁だったり利用者と話合っ て決めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が入浴したくない時に無理に勧めるのではなく、自らの意志が働くように、対応に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の状態や周囲の雰囲気 considering しながら、対応に努めています。活動的な方から消極的な方がおられますので、個々に合わせたケアができるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2ヶ月に1回は、訪問美容に来て頂いている。お出かけの時に声かけ行いながら、おしゃれが出来るようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前にメニューの紹介を行い、職員も一緒に目配り、見守り行いながら食事を頂いています。誕生日食や行事食も提供しています。又、下膳の声かけも行い出来る方は、お願いしています。	両ユニットは同じ献立である。誕生日は、手作りのケーキや本人にリクエストを聞いて調理している。ほかに行事食、(ひな祭り、お彼岸、おせちなど)も提供している。また、利用者には個々の能力に応じた手伝いもいただいている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは献立作成時に配慮行い、食事量や水分量に関して、残量のチェックにて把握行うようにしています。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後のうがいや義歯の洗浄から自分の歯の歯ブラシなど、個々の状態に応じてケアをしています。又、訪問歯科からの指導も受けています。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンの細かい記載は、行っていないが、トイレへの声かけを行い、オムツでの排泄が少なくなるようにケアに努めています。	排泄のリズムを把握し、タイミングを見ながらトイレ誘導したり、なるべくトイレで排泄ができるよう支援している。布下着の方やリハビリパンツ、ポータブルトイレを使用される方など個々の排泄の自立支援をおこなっている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食に手作りのヨーグルトと補水やお茶を出来るだけ飲んで頂けるようにしています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日の日程は基本決まっていますが、本人が望まない場合には、時間を前後して行うか、又は、日程変更を行い対応しています。	概ね週2回程度、午前中に入浴支援を実施している。本人の希望や必要性に応じて、タイミングを図り曜日や時間を変えて入浴を勧めるなどして気持ちよく入浴ができるよう柔軟に取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、安眠できるように日中の生活リズムを整えるようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院からの内服は、薬局より職員や場合によっては本人に、薬の名称や用法、効能、副作用といった情報に関する説明を行うようにしています（初めての場合や変更時）		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人、お一人の残存機能を活かし、本人が役にたっているという満足感が持てるように心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望に沿って、その日その日の突発的な外出は、業務に支障がないと判断されたときに、行う事もあります。普段行けない場所に関しては、家族さんの協力をお願いして行っています。	天候や体調を見ながら、希望があれば職員と一緒に近所のスーパーに買い物に行ったり、いちご狩りや花見に出かけている。また、外食や自宅訪問、外泊などは家族に協力をいただいている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理の自己管理ができると判断されるか方に関しましては、お金を所持して頂き、束縛しないようにしています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の要望があるときには、状況の判断を行い、対応に努めるようにしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節毎に写真の貼り替えや季節の花や必要品を置くなどの工夫を行う事で、安心できる空間作りに努めています。湿度計の設置により、空気の乾燥に注意を行いながら対応しています。</p>	<p>中庭があり、回廊式になっており、壁には行事の写真が掲示され、季節の生花が飾られている。ホールには、テーブルや椅子、テレビやソファなどがあり、利用者は思い思いに過ごしている。畳部屋もあり、洗濯物を干したり、畳んだりとお手伝いをされるなど生活感が漂っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者さん同士で、関係性が悪化した場合、家族さんの了解を得て居室替えを行う事で、共同生活が潤滑できるように、配慮しています、</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>御自宅から本人の思い出がある物、持ってきて差し支えない物を家族さんへお伝えしています。</p>	<p>居室は、ベット、タンス、洗面台が備え付けになっている。テレビやギター、仏壇などの馴染みの物をを持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>お一人お一人の状態に応じて、歩行器や立ち上がりバーの設置を行い、身体機能低下防止に努め、いつまでも健康で元気に過ごして頂ける環境づくりに努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない